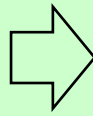


省力化・コスト削減に取り組み、足腰の強い農業を目指す ～有限会社グリーンサポート斐川～

経営体の概要

当初：平成15年7月
基幹作物：水稻、大麦、大豆
経営面積：19ha



現在：令和2年度
基幹作物：水稻、大麦、小豆、そば、
さつまいも、白ねぎ、薬草
経営面積：41.3ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

斐川町地域では、農地を提供したい農家は（公財）斐川町農業公社に農地を預け、担い手農家は公社から借り受ける形で集積が図られている。年々、公社で管理・耕作する農地が増えてきたことから、公社から分社する形で平成15年7月に農地所有適格法人として（有）グリーンサポート斐川を設立した。

現在、役員1名、職員5名（正職員2名、契約職員3名）の体制で、農地（約41ha）の管理・耕作や担い手のサポート等に取り組んでいる。

本事業により安定的な用水供給が可能となったことで、生産組合の体制整備や経営規模の拡大等も図られ、高収益作物の生産増や地域の耕作放棄地発生の抑制に繋がっている。

営農改善のポイント

①作物の変化

設立当初は米麦中心であったが、代表者の営農知識を生かして高収益作物に取り組むこととし、白ねぎ、小豆、そば、さつまいも、薬草等の品目を増やしていった。小豆は、色彩選別機や乾燥機を導入し、自社栽培（12.4ha）と町内の小豆農家からの委託全てを自社で乾燥・調整している。

②省力化

グリーンサポート斐川では、水稻の乾田直播栽培の拡大、水田の水位・水温を測る水田センサー、農業情報管理アプリ、GPSレベラー作業、自動操縦機能トラクターや農林水産省のスマート農業実証プロジェクトに参画するなど、省力化・コスト削減に向けた様々な取組を行っている。

農業情報管理アプリは、全てのほ場の位置・面積がアプリ内マップで表示され、ほ場1枚毎に肥料・農薬の投入量や単価、地代等の情報が記録されている。さらに、スマホを使いその日・その場ですぐに作業内容を入力・更新でき、職員全員が進捗状況等の情報を共有することにより、作業の効率化に繋がっている。



農業情報管理アプリ
（スマホで作業情報の確認・入力が可能）



トラクター等

事業概要

事業種：国営農業用水再編対策事業
関係市町：島根県出雲市
受益面積：3,728ha
事業期間：平成17～平成28年度
事業目的：用水改良
主要工事：用水路の新設・改修49.7km
揚水機場等の改修3ヶ所、汐止堰新設1ヶ所
水管理システムの整備一式 他

位置図（島根県）



<問い合わせ先>
中国四国農政局
農村振興部農地整備課
電話：086-224-4511
（内線：2562）

（令和3年度調査時点）